

政策の柱	Ⅱ 市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	5 健全な青少年を育成する	政策の達成目標 (基本施策目標)	青少年自身が規範意識を持ち、非行や問題行動を起こすことなく、社会の一員として充実した生活を送っています。	H23中間総括評価 時点の政策の達成度	<b>B</b>	A:順調 B:概ね順調 C:少し遅れている D:遅れている
------	------------------------	----------------	---------------	---------------------	--	------------------------	----------	----------------------------------

1 政策を構成する各施策の取組状況

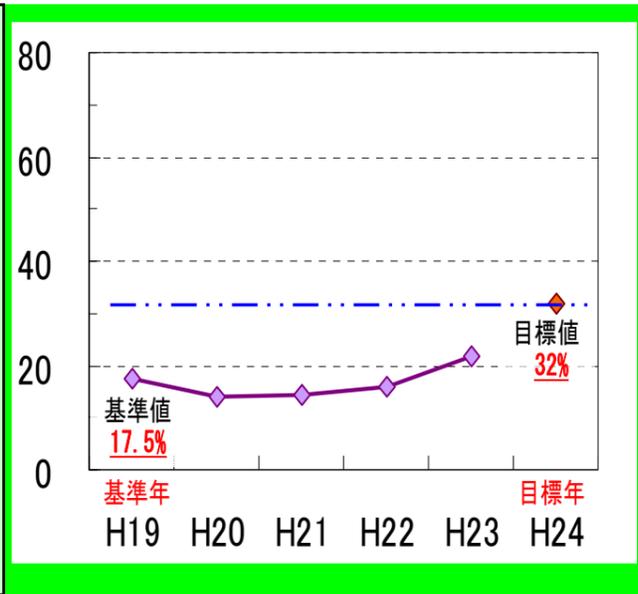
No.	施策名	主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標 指標の数値	課題
1	青少年の社会的自立の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 青少年の社会参加を促進するため、子どもの体験活動の促進やジュニア未来議会の開催、青少年活動センターの運営などに取り組んでいる。</li> <li>◆ 健全育成活動を推進するため、ふれあいのある家庭づくり事業や青少年の居場所づくり事業、青少年育成団体の活動支援に取り組んでいる。</li> <li>◆ 青少年の自立支援対策を推進するため、総合相談事業の実施や社会参加体験事業に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 総合計画の指標である若年者における非労働者の割合については、平成24年度中に把握予定である。⇒昨今の社会経済情勢を勘案すると、目標達成は難しいものとする。</li> <li>◆ 自立支援相談件数は、相談窓口の周知を行ってきたことにより、対象者の掘り起こしが図られ、H20と比較して約4倍に増加している。⇒今後も増加することが見込まれる。</li> </ul>	—%	◎若年者(15～34歳)における非労働者(家事・通学を除く)の割合  現状値 H23:—%(H17:1.1%) ↓ 目標値 H24:1.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 青少年が社会的自立に困難を抱えることなく健やかに育つよう、幼少期から青年期に至るまで、ライフステージに応じ、青少年の社会参加機会や体験の場の機会の拡充、将来の地域づくりを担う青少年リーダーの育成などを関係機関や地域団体との連携により行っていく必要がある。</li> <li>◆ 社会経済環境や雇用が悪化する中で、ニートや引きこもりなど社会的自立が困難な青少年が自立に向かうことができるような支援策を充実していく必要がある。</li> </ul>
2	非行・問題行動の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 非行・問題行動未然防止の環境づくりに向けて、環境点検活動や巡回指導、非行防止相談事業に取り組んでいる。</li> <li>◆ 青少年の規範意識の醸成に向けて、非行防止講演会の開催や薬物乱用防止運動に取り組んでいる。</li> <li>◆ 青少年の非行・問題行動の未然防止のため、地域における巡回指導活動や環境点検活動等を実施している。</li> <li>◆ 家庭における養育の向上に向けた保護者への意識啓発を図るため、一日巡回指導体験や非行防止講演会を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 巡回指導による被指導者数については、目標値に近いものとなっている。今後も急激な変化はないものと予想される。⇒H24年度末の目標値の達成は可能だと思われる。</li> <li>◆ 地域における延べ巡回指導活動実施回数はほぼ達成している。⇒H24年度末の目標値の達成は可能だと思われる。</li> </ul>	101.3%	◎巡回指導による被指導者数  現状値 H23:3,455人(1月迄) ↓ 目標値 H24:3,500人	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 青少年が非行や問題行動を起こすことなく健やかに成長できるよう、保護者や地域住民の理解を促進するとともに、関係機関や関係団体の連携強化を図っていく必要がある。</li> </ul>
政策を構成する施策指標の達成状況		<b>A</b>	※各施策の「指標の達成度」の平均値をA～Eの指標で提示 90%以上:A 80～90%:B 60～80%:C 40～60%:D 40%未満:E	施策指標の達成度 平均値	101.3%	

2 これまでの取組状況（H20～H23）と見通し

主要な取組内容	成果の大きい施策	<p>「青少年の社会的自立の促進」について、ジュニア未来議会の参加人数については、目標値に近いものとなっている。また、青少年活動センターにおける青少年対象事業については、開催回数も増え、参加数も増加の傾向にある。</p> <p>「非行・問題行動の未然防止」について、巡回指導による被指導者数など各施策指標については、目標値と近似となっており、着実に取組が推進されている。</p>	外 特 部 記 要 事 項 な ど	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国において、「子ども・若者育成支援推進法」を施行し、社会的自立に困難を抱える子どもや若者を地域において支援するためのネットワークづくりや青少年を取り巻く社会環境の浄化を推進している。</li> <li>◆ リーマンショックに代表される世界的な不況の中、コスト削減を目的とした非正規での雇用形態が増すなど、経済的自立をはじめとした青少年の社会的自立がますます難しい社会環境となっている。</li> <li>◆ 青少年の犯罪件数は減少しているが、万引きの件数は依然として多い。</li> </ul>	実績とH24末の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「青少年の社会的自立の促進」において、青少年の社会参加の促進や健全育成活動の推進については、ジュニア未来議会や社会体験学習推進事業、居場所づくり事業などにより、青少年の社会参加や体験活動の場の提供を行っている。青少年の自立支援対策については、青少年自立支援センターの周知が図られ、相談件数が増加している。しかしながら、厳しい雇用状況から、青少年の社会的自立における重要な要素の一つである就労に結びつくといった成果があらわれにくい状況である。⇒青少年の健全育成については、地域や関係機関等との連携、協力のもと青少年自身の自主的・自立的な活動が着実に進んでいくと見込まれる。また、自立支援については、引き続き、社会参加や体験活動の場の提供することにより、青少年の地域社会の一員である意識の醸成等が図られていく見込みである。ニート・ひきこもりなど自立に困難を抱えた青少年については、きめ細かな相談や社会参加体験や関係機関との連携強化により、自立支援に取り組んでいくが、今後も厳しい雇用状況が続く見込みであることから、就労などの結果があらわれにくいと見込まれる。</li> <li>◆ 「非行・問題行動の未然防止」については、地域における巡回指導活動や一日巡回指導、非行防止講演会の実施などにより、ここ数年の青少年犯罪が減少するなど効果として現れている。⇒平成24年度末においても、引き続き地域における非行・問題行動の未然防止活動を推進している。</li> </ul>
	取組の遅れている施策	<p>「青少年の社会的自立の促進」について、きめ細かな相談や社会参加体験、関係機関との連携などにより支援を行っているところであるが、青少年を取り巻く環境は、雇用状況など依然として厳しく、取組の成果があらわれにくい状況である。</p>				

### 3 市民意識調査結果

H23 市民意識調査	市民の政策満足度	
	H23満足度	達成率
	21.9%	68.4%
	目標に対する達成率が 高：90%以上 中：70～90%未満 低：70%未満 <span style="font-size: 2em; color: blue; font-weight: bold;">低</span>	



### 4 今後の方向性

今後の方向性

◆「青少年の社会的自立促進」のうち、青少年の社会参加の促進については、ジュニア未来議会や宮っこフェスタでの青少年の社会参加、社会体験学習推進事業などによる体験の場の提供により、一定の成果を得ているところであり、引き続き青少年の社会参加機会や体験の場の機会の拡充、リーダーの発掘・育成などを推進する。一方で、ニート・引きこもりなど自立に困難を抱える青少年については、きめ細かな相談支援を実施しているが、非正規雇用の増大など、社会環境が厳しくなる中、就労など自立に結びついていくことが難しい状況にあり、今後も増加することが見込まれる。このため、さらなる掘り起しや、社会参加体験など就労につなげていくための効果的な支援の実施、関係機関や関係団体との連携強化を図っていく。

◆「非行・問題行動の未然防止」については、青少年の犯罪件数は減少傾向であり、地域における非行・問題行動の未然防止活動など、着実に取り組まれている。今後も、非行等の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、地域や関係機関、関係団体との連携や保護者や地域住民の意識の醸成を図っていく。